

さわらび

第68号

平成30年6月30日発行

社会福祉法人 泰仁会
 特別養護老人ホーム「やさと」
 石岡市小倉442-1
 TEL (0299) 43-0811(代)
 特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」
 東茨城郡茨城町桜の郷 231-7
 TEL (029) 292-3900(代)



チームケアの要 (桜の郷元気 医務室)

納涼祭開催のお知らせ

模擬店、花火、盆踊りなどのイベントを企画しておりますので、皆様お誘い合せの上ご来園下さい。

日時：平成30年8月25日(土) 17:30~19:30

雨天時：平成30年8月26日(日)

8月26日が雨天の場合は中止になります

場所：特別養護老人ホーム やさと 駐車場

目次

平成30年度を迎えて.....2	イメージアップ.....2	お野菜つくってます！.....5
平成29年度決算報告、事業報告...3	素敵なコーディネート.....4	可能性.....6
ジャガイモづくり.....4	春のお散歩.....4	一万円達成！.....7
快適な空間を目指して.....4	運営推進会議.....4	在宅復帰を目指して！.....7
母の日ふれあい交流会.....5	母の日ふれあい交流会.....5	結婚おめでとう.....8
春の遠足.....5	春の遠足.....5	合格おめでとう.....8
おたのしみ会.....5	おたのしみ会.....5	新人紹介.....8
		事故対策、身体拘束ゼロ.....8
		苦情処理委員会.....8
		すくすく通信.....8
		編集後記.....8

合格おめでとう



桜の郷元気
介護福祉士 横瀬遼平



桜の郷元気
介護福祉士 永井くみこ



桜の郷元気
介護支援専門員 作山千恵



やさと
介護福祉士 阿曾尾実花



桜の郷元気
介護福祉士 大野家作

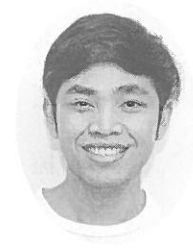


桜の郷元気
介護福祉士 黒田由美

EPA(フィリピン・インドネシア)



やさと
介護福祉士 イルバン



やさと
介護福祉士 ロシデザイン



やさと
介護福祉士 アレックス



五月二十三日に色川保育士の第一子となる女の子が産まれました。名前は陽菜ちゃん、体重は3858グラムです。優しく元気な子に育ってください。

あすすく通信

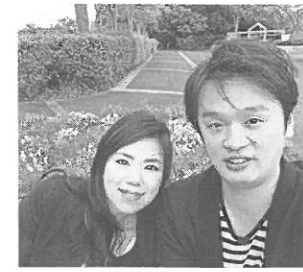


ゴールデンウィーク中につくば方面の田んぼ道を通ると、大きな鯉のぼりが揚がっているのを見かけました。以前は通勤途中にいくつも鯉のぼりが揚がっていましたが、いつの間にか見かけなくなったことに気づき、淋しく感じています。

編集後記



特養やさと
介護職 齊藤圭太



特養やさと
相談員 宮本貴行
介護職 宮本 泉

結婚おめでとう

新人紹介



桜の郷元気
看護職 根本彩花



桜の郷元気
介護職 吉沢一徳



桜の郷元気
運転手 眞崎桂一



国府あおい
介護職 高木恵美子



やさと
介護職 石塚琴美

事故対策委員会より

平成29年度合計	やさと	桜の郷元気
事故報告件数	307件	99件
ヒヤリハット報告件数	2,623件	1,227件

安心・安全のために、目配り・気配り・心配りを職員一同で取り組んで参ります。(やさと)
 平成29年度に発生した事故・ヒヤリハットに対し、再発防止策を含め、各専門職で話し合いを行い、安心・安全なサービス提供につなげられるよう取り組んでおります。(桜の郷元気)

身体拘束ゼロ委員会より

平成29年度合計	やさと	桜の郷元気
身体拘束対象者	2名	0名

現在身体拘束対象者は0名です。身体拘束ゼロを維持し、多職種と身体拘束に頼らない支援を行って参ります。

苦情処理委員会より

平成29年度合計	やさと	桜の郷元気
苦情報告件数	8件	12件

平成29年度は20件のご意見を頂きました。皆様から頂いた苦情・ご意見については、速やかに改善に向けて話し合いを行い、より良いサービスの実践につなげて参ります。

平成三十年度を迎えて

社会福祉法人 泰仁会
理事長 江畑隆夫



輝かしい朝日が筑波山系を照らし、平成三十年の幕が開いた。

この山裾に私達の開いたささやかな施設にも新しい年は訪れている。天皇陛下の御退位の日取りも決まり、新しい元号、新しい時代への実感が湧いてきた。同時に、昭和が更に遠のいていくという寂しさが心をよぎってくる。

これまでにどれだけの人をお迎えし、何人の人をお送りしたことだろう。これらの方々に「入って良かった」と思っただけが何時も心にかかっていた。

私達の仕事はご利用者の皆様の生活をサポートすること、御自分の家で暮らすように楽しく過ごして頂くこと。これからも入居者の皆様方を暖かくお迎えする心を忘れず、それぞれが頑張っ行ってきたい。平成三十年度もよろしくお願ひします。

萌えいづる春になりにつけるかも

石走る垂水の上の早蕨の

(万葉集より)



理事会の様子

イメージアップ

特別養護老人ホーム やさと
施設長 高城裕



今年の四月は、気温の変化が大きく、桜の開花は平年よりも早く、葉桜の入園、入学式となりました。

本年は、三年に一度の介護報酬改定がありました。改定前は、要件など準備するための情報が少なく、不安が残るまま平成三十年度が始まりました。

前回の介護報酬改定からの厳しい状況は、他法人・施設も同じと考えます。苦しい時だから何もしないでじっとしているのか、苦しい時だからこそ新しいことへチャレンジするのか、やはりやりたいことをするべきだと学んだ三年間でした。

私達の介護業界は、固定観念が強く、介護のイメージもメディアなどから得た情報だけで認識されているように思います。

さらには、介護現場でも知識や経験があるほど自由な思考を邪魔してしまい改善改革を好まない現状も見受けられます。一度、認識されたものを変える難しさを痛感しています。この変化の激しい時代に目に見え



介護保険改正説明会

1万人達成!

デイサービス 桜の郷元気
在宅支援課
課長 坂本卓生

また自己決定、自立支援サービスと並び力を入れたサービスが、楽しめるデイサービスです。楽しいことは続けることができ、続けることで効果が生まれ、その効果がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられることに繋がっていくのだと考えております。

「地域の高齢者の方々がいつまでも住み慣れた地域や家庭で暮らし続けるために」を目標に様々な介護サービスを提供しております。平成二十九年度は開設以来初めて年間利用者数一万人を達成することができました。地域における福祉ニーズはこれまで以上に多様化しており、介護が必要になっても、自分の生活は自分で決めて自己決定できる選択サービスや、自分でできることは自分で行うという自立支援のサービスを基本とし、ご利用者様の介護度を維持・改善できるサービスを目標に取り組んで参りました。ご利用者様の役割を奪わないことや、機能訓練(リハビリ)においても看護師、理学療法士が連携しながら個別に計画を立て支援しております。その結果平成二十九年度は六十名以上の方が介護度の維持・改善に繋がることができました。何よりもご利用者様自身の生活に対する意欲があったからだと強く感じております。



その一つに平成二十九年年度新しく取り組んだ活動が茶道教室です。お茶を点て振る舞うことを目標に取り組むことで、茶道教室の日が楽しみで心待ちにしているとの声を聞くようになりました。また様々な外出支援では、お花見や紅葉など季節を感じることでできるものや、地域に

在宅復帰を目指して!

紅葉ユニット
主任 高橋まゆみ

出て行くことで社会参加することの意義を感じていただける支援を行っております。

の職員や看護師とも話し合い、出来るだけ体の機能が低下しないように最善の支援方法を探りながら取り組みました。さらに、ご家族様にもお母様の生活支援のための会議に参加して頂き、在宅復帰に向けての希望や不安に思う事を伺いながら準備に取り組んでおります。

紅葉ユニットでは、入居者様の在宅復帰に向けて準備を進めております。ご家族様は入居当時から施設への来園も多く協力的で、いつもご来園される娘様や旦那様は入居されているお母様をとて大事にされています。娘様は「母といっしょに暮らしたい」と話されていましたが、お母様の体の状態やご家族様の来園時の様子を拝見していると在宅復帰も夢ではないとずっと感じていました。お母様は若年性アルツハイマー型認知症の方で要介護4の方です。食事やトイレについても、ご自分で行えることもたくさんありますが、体調は一定ではなく、変化する為、自分で行うことが困難な日もありました。そこであきらめず、ユニット

ご家族様や様々な専門職が知恵を出し合い、ケアを行っていく事が必要だと思っております。これからもご家族と向き合いながら、入居者一人一人のニーズを大事に支援させて頂きたいと思っております。



可能性



桜の郷 元気 施設長
永山 直人

新しい年度を迎え、恒例として「新年度訓示」と「法人・施設の事業計画説明研修会」を終えました。法人代表で菊地常務理事からは、法人の方向性や今後予測される社会情勢について、自らの経験を交えながら語り、施設長の私からは、「桜の郷 元気」の使命として、ご利用者や地域社会に対しての果たすべき役割について、理念の中で一人ひとりに語りかけました。皆が同じ方向に向かって「歩」を進めるために、一年に一度しか作れない大切な時間です。今年度は特に、職員一人ひとりの眼差しも強く、表情も引き締

まっていたように感じています。桜の郷 元気では運営理念としている、「地域と共に暮らし地域につながるサービスの実践」を実現させていくために、「自立(律)支援の取り組み」を第一のステップにしています。まず私たちの取り組みに、きちんとした「成果」が出ているのか・あるいは出ていないのかを「検証」するために、ご利用されている方々の要介護認定の更新時に、確認をします。桜の郷 元気では、「自立(動作・身体的に)と自律(心・精神的に)と併せて「自立(律)」という表現方法を取っています。新年度に入り、四月と五月の二か月間の中で、要介護認定で要介護状態が軽くなった方が五名・要介護状態が変わらなかった方が三名・要介護状態が重くなった方はおりませんでした。「自分では出来ることが・自分で決められること」が増えて、自立(律)度が高まった「証」です。自立(律)度が高まってくれば、ご利用者自身も日々の暮らしの中で更に「意欲」が高まってくると思

います。ベットから離れて短時間でもリビングで過ごせるようになれば、身だしなみを整え、他の入居者や利用者の方々との交流も生まれます。横になつていた時に見ていた風景と違った「発見・気づき」も生まれるでしょう。外に出てみたい。そんな気持ちも生まれるてくるはず。ひよつとしたら、ショートステイやデイサービスを利用しながら、住みなれた自宅や地域に帰れるかもしれない。私たちは、そんな「可能性」に真剣に向き合っていきたい。そんな介護施設でありたいと思っています。二十代前半で、「介護」という仕事に就きましたが、私自身でもようやく、この「究極の課題」が見えてきました。仲間であるスタッフと共に、これからの数年、この「目標」に向かって必死に走り続けたい。と考えるようになりました。多くのご家族の方々が、「ご利用者の支援会議(個別カンファレンス)」に出席してくれるようになりました。私も参加させていただき、一緒にご利用者の「自立(律)支援」に向けて検討をしています。かつて「日本一の施設を創りたい。」と強く思っておりましたが、歳を重ねるにつれて、この「初心」をどこかに仕舞ってしまったかのように、自分の口から「言葉」にはなりません。今、あらためてこの「自立(律)

支援」の取り組みに向かっていく事が、自分自身でイメージしていた、「介護・福祉サービス」であり、「日本一の介護施設」に向かって行くのだろう。と思えるようになりました。少々長くなりましたが、私はいろいろな所で「施設長」の仕事は、「人財」を育てる事であり、「プロスポーツの監督」と全く同じである。と話をします。その「結び」はいつも「結果が残せなければ、シーズン途中でも解雇があたりまえの世界。我々も甘んじてはならないです。」です。現在も日本大学の「危険タックル行為」について報道されていますが、最もつらく残念に思うことは、加害者となる日大の選手が「もうアメフトはやらない。やる資格がない。」とコメントしていることです。性質は全く違いますが、私は施設長として、「高齢者介護」や「高齢者福祉」を志して、夢を持って入職してきた職員に、「もうこの仕事はやらない。やりたくない。」等と「悲しい思い・つらい思い」等を絶対にさせないようしなければならぬ。いつまでもこの仕事に「夢」を与えられるような「存在」であり続けたいと思ったところです。

平成29年度決算報告

貸借対照表

平成30年3月31日

資産の部		負債の部	
流動資産	412,823,075	流動負債	145,756,031
固定資産	2,078,147,365	固定負債	394,823,567
		負債の部合計	540,579,598
		純資産の部	
		基本金	162,034,792
		国庫補助金等特別積立金	505,282,141
		その他の積立金	121,570,000
		次期繰越活動収支差額	1,161,503,909
		純資産の部合計	1,950,390,842
資産の部合計	2,490,970,440	負債及び純資産の部合計	2,490,970,440

事業活動計算書

(自)平成29年4月1日～(至)平成30年3月31日

勘定科目	決算額
サービス活動収益	1,047,192,426
サービス活動費用	1,002,114,285
サービス活動増減差額	45,078,141
サービス活動外収益	10,066,826
サービス活動外費用	9,010,064
サービス活動外増減差額	1,056,762
経常増減差額	46,134,903
特別収益	1,603,000
特別費用	1,603,003
特別増減差額	-3
当期活動増減差額	46,134,900
前期繰越活動増減差額	1,064,539,009
当期末繰越活動増減差額	1,110,673,909
その他の積立金取崩額	59,830,000
その他の積立金積立額	9,000,000
次期繰越活動増減差額	1,161,503,909

資金収支計算書

(自)平成29年4月1日～(至)平成30年3月31日

勘定科目	決算額
事業活動収入	1,057,259,252
事業活動支出	961,117,458
事業活動資金収支差額	96,141,794
施設整備等収入	11,603,000
施設整備等支出	150,579,856
施設整備等資金収支差額	-138,976,856
その他の活動収入	66,403,902
その他の活動支出	23,140,821
その他の活動資金収支差額	43,263,081
準備費	0
当期資金収支差額合計	428,019

前期末支払資金残高	340,153,497
当期末支払資金残高	340,581,516

平成29年度事業報告

◇利用状況 やさと

特別養護老人ホームやさと	17,666名	
短期入所生活介護やさと	4,416名	
デイサービスやさと	6,351名	
デイサービスやさと(介護予防)	655名	
デイサービスやさと(総合事業)	590名	
ケアプランセンターやさと	実績件数 1,718件	
ケアハウスやさと	5,434名	
在宅支援センターやさと	相談件数	3,986件
	実態把握	199名
	生活機能評価	101名
	家族介護者等交流会	263名
グループホームさわらび	宿泊	2,978名
	通所	3,106名
	訪問	6,123名
事業所内託児所 こぎつねの郷	2,134名	

桜の郷 元気

特別養護老人ホーム桜の郷 元気	24,123名	
短期入所生活介護桜の郷 元気	3,957名	
デイサービス桜の郷 元気	8,795名	
デイサービス桜の郷 元気(介護予防)	470名	
デイサービス桜の郷 元気(総合事業)	917名	
ケアプランセンター桜の郷 元気	実績件数 688件	
ケアプランセンター桜の郷 元気(予防)	実績件数 54件	
シルバーハウジング	安否確認	10,476回
	相談件数	69件
	緊急時対応	24件

◇委員会活動

やさと	桜の郷 元気
事故対策委員会	リスクマネジメント委員会
身体拘束委員会	事故対策委員会
広報委員会	身体拘束委員会
衛生委員会	感染症予防対策委員会
感染症対策委員会	災害対策委員会
苦情処理委員会	苦情処理委員会
研修室委員会	広報委員会
ワークライフマネジメント推進	衛生委員会
	研修室委員会

◇リスクマネジメントの取り組み状況

	やさと	桜の郷 元気
事故報告件数	307件	99件
ヒヤリハット報告件数	2,623件	1,227件
苦情件数	8件	5件
やむを得ない身体拘束件数	2件	0件

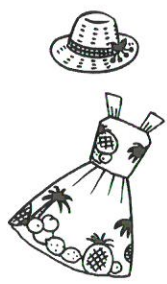
◇有資格者数(平成30年3月31日現在)

資格名	やさと	桜の郷 元気	資格名	やさと	桜の郷 元気
介護福祉士	43名	42名	理学療法士	1名	1名
社会福祉士	5名	2名	作業療法士	1名	1名
介護支援専門員	12名	10名	管理栄養士	2名	1名
正看護師	8名	4名	保育士	6名	0名
准看護師	6名	9名			

素敵なコーディネート

ケアハウス相談員
実川 カ

ケアハウスでは市内のショッピングセンターで今年の夏に向けて洋服を買いに行ってきました。皆様とても真剣な眼差しで一時間を掛けて素敵な洋服をたくさん購入されました。買い物をした後のレストランでは、「次は秋になったら行きたいね」と話されていました。



ジャガイモづくり

グループホームさわらび
介護職 津村 健一郎



1ヶ月後の様子

三月下旬の晴れた日、さわらび農園でジャガイモの植付を行いました。畑仕事のお好きなご利用者が畑を耕してください、きれいに植えつけることができました。たくさん収穫ができるように除草、防虫の作業も行っていました。

春のお散歩

国府あおい
介護職 若菜 美恵子



国府あおいでは春の陽気が心地よい四月にご利用者の皆様と一緒に風土記の丘まで散歩にいらっしゃいました。満開の桜をみていると皆様の表情もほころび、うらかな春の訪れを満喫している様子でした。



快適な空間を目指して

当施設も開設二十三年となりまして、ドアの交換と床の貼替え工事を行いました。改修後は木目調の暖かい空間となりました。



運営推進会議

在宅介護支援センターやさと

前沢 光枝

在宅介護支援センターでは地域の施設と一緒に各施設の運営や、ご利用者支援について話し合いを行っています。



グループホームあんずにて

母の日ふれあい交流会

特養やさと
介護職 エレン

五月五日に特養やさとでは石岡市内の演芸ボランティア様にお越しいただき、母の日ふれあい交流会を開催しました。素敵な歌や舞踊をご披露していただき、ご利用者も一緒に楽しんでいただき、過ぎが過ぎました。

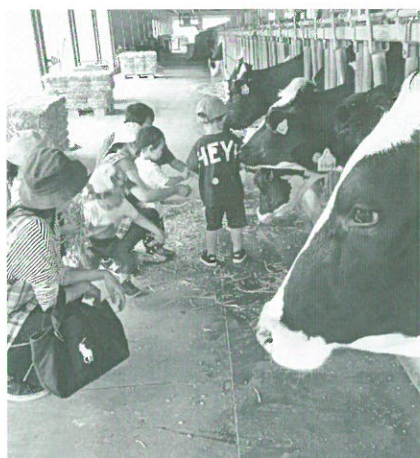


春の遠足

こぎつねの郷
保育士 市川 智美



五月二十五日に所外保育で茨城畜産センターと風土記の丘に行きました。エサやり体験や模擬牛を使った搾乳体験など色々な体験をしました。初めは大きな牛にビックリな子ども達もエサやりを通して最後は牛と仲良しに♪風土記の丘では新しく出来た遊具や大きなお獅子に大興奮の子ども達でした。



おたのしみ会

特養やさと
副主任 高橋 久子

五月二十日に特養やさと四グループ合同でお楽しみ会を行いました。青空の下、わたあめとお好み焼きを作り、召し上がって頂きました。子供の頃にわたあめを食べたことを思い出し、笑顔で楽しいひとときを過ごすことができました。



お野菜つくってます！

デイサービスやさと
介護職 岡崎 明裕



デイサービスやさとではご利用者と職員が一緒になって楽しむために中庭で花壇と菜園づくりを始めました。野菜の収穫の時期になりましたら、収穫祭を開催したいと思います。

